

〈要約〉

## 学習環境支援としての日本語教育教科書の諸点

### Some points of Japanese language education textbooks as learning environment support.

秋山 智美  
Satomi Akiyama

言語教育教材は、その言語習得の環境支援の一分野である。教材の重要性を説く論はあり、出版された教材が非常に多種多様であるものの、一人ひとりに適した教材を選定することは、非常に困難なことである。昨今の日本は、母国などで日本語学習を経てから来日する留学生が多くなった。日本語学校に入学する者でも、日本語をある程度は既習している者の比率が高くなっているという。特に、大学進学を目的とする「別科（日本語研修課程・あるいは留学生課程）」では、応募資格に「日本語能力試験3級合格以上の日本語能力を有する者」という制限を設けているところもある。海外での日本語教育機関が格段によくなっている。また最近では、母国で日本語を多少なりとも学習して来日する学習者が多くなっていることも確かである。

各機関の日本語学習者の変化は日本における受け入れにも影響を及ぼしている。現在の日本語教育は、留学生や技術研修生に対する日本語教育主流型から脱却し、児童教育、ビジネス日本語、海外日本語教育など多目的日本語教育型への変容過程にある。

本稿では、そうした変わりゆく日本語教育において教材選定の問題と現状を挙げ、考察する。